

2007-11-17

## きょうと食育シンポジウム発表概要

京都リビング新聞社 藤田晶子

### 全国のリビングネットワークで共同キャンペーン「わが家ごはん」実施中

リビングネットワークには仙台～鹿児島まで20社が加盟。それぞれ地域密着の情報を発信中。昨年度から全国で「家庭の食卓をもっと豊かに」を合言葉に、読者の本音を掘り下げる「わが家ごはん」キャンペーンを展開中です

わが家ごはんホームページ <http://wagaya-gohan.jp/>

### 全国のリビング読者4707人のアンケート、「食育を実行している」人は22.5%

今どきの主婦はちゃんと料理をしている？ 外食や中食ばかりでは？ 全国の読者4707人が参加した「ごはんづくり」アンケートによると、夕食をつくるのは週平均6.2回。食育に関しては、「子どもも食事づくりに参加させて食の基本を教える」を理想としている人が67.1%、しかし現実に行っているという人は22.5%という落差のある結果に

### 街頭調査の「教えて！きのうの晩ごはん」で、お手軽志向が見えた

街頭調査で「きのうの晩ごはん」を直撃インタビューしたところ、「コンビニサラダ」「お寿司の出前」「ファミレスでハンバーグ」「やきめし」などお手軽メニューが続出。先のアンケートの回答はやや“よそ行き”、現実の食卓はさらにお手軽志向なのかもしれません

### 「笑顔と会話を増やす」食卓実験に、読者15家族が参加

食卓の豊かさとは、単に贅沢なものを食べるだけでなく、家族の食卓の囲み方がポイント。読者アンケートによると、夕食時にテレビをつけている家族が6割以上と判明。読者15家族が「食事時のテレビを消す」「全員が食べ終わるまで着席」「買い物、調理の段階から夫や子どもも手伝い」という3点の食卓実験にチャレンジ。「テレビ」と「手伝い」には食卓を盛り上げる効果がありましたが、「着席」は小さな子どもには難しかったようです

### コラム「残したい京の味」の連載で、手づくり和食メニューの魅力伝える

ごはんキャンペーンに関連して、リビング京都ではコラム「残したい京の味」を連載中。京都の家庭の食卓から消えかけている「おばんざい」について読者に取材。レシピも掲載して、手づくりの和食メニューの魅力再認識を促し、読者に好評です

### 食への関心は二極分化、マスメディアは「寝た子をさます」努力を

我々が食育にかける熱意は、本当に必要な家庭に届いているのか？ 読者を見ていると、食に関する意識は「高い」「低い」に二極分化。家庭の女性に最も読まれているメディアとして、「寝た子をさます」大人への食育も心がけていきたいと考えています